



えんだより



2023年2月
吉野幼稚園

主 題：「認め合う」

聖書のことば：「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。

すべての事において感謝しなさい。」(テサロニケ5：16)

早いもので、今年ももう1か月が過ぎてしまいました。昔から「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われていて、3学期はあっという間に過ぎていくようです。今年度も、残り2か月を切ってしまいました。

子どもたちは、コロナ禍の中、寒いながらも元気に登園して、園生活を頑張っている様子で、私も元気をたくさんもらっています。一方、厳しい寒さなどで体調を崩す子供もいるようですので、引き続きご家庭での健康管理（毎朝の検温、うがい手洗い、栄養、睡眠、運動等）に留意していただきますようお願いいたします。

さて、今回は「環境を整えよう」のお話の続きです。園だより12月号で、「目線に注意する」ということを書きましたが、今回は、もっと具体的に②「**子供用のトレイを準備する**」ということと、③「**片づけられる環境をつくる**」ということです。

本園では、自分で選んだおしごとの教具を、自分の机まで運びます。教具は小さなトレイに入っています。ご自宅でもぜひ「子供用のトレイを準備する」と、子どもは喜んで食事の配膳などに使ってくれると思います。

自分でおしごとを選んで、心ゆくまで活動したら、もとにあったところに戻すまでがワンクールです。ご自宅でも、子どもたちのものを片付ける場所を決めてあげるとよいでしょう。その時、その場所を口で言うばかりではなく、そのものの写真を撮って張り付けるなど、いろいろな工夫をすると子どもはわかりやすくなります。

環境さえ調っていれば、「いつもある場所にないと気持ち悪い」と感じる「秩序の敏感期」にある子どもたちは、自分から進んで楽しくお片づけをするものです。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

2月のねらい

- Aグループ・小学生になることへの期待を膨らませ、意欲的に生活する
- Bグループ・年長児の活動を見て、自身の意欲を高めながら進級に期待を持つ
- CDグループ・身支度を自ら行う中で生活習慣が身に付き、自信を持って活動に取り組む
- つぼみ・異年齢の交流の中で、進級に向けての期待感が高まる